Amundi
Investment Solutions

日興レジェンド・イーグル・ファンド
（資産成長コース）／（円ヘッジコース）／（毎月決算コース）

追加型投信／内外／株式

販売用資料
月次レポート



良好な運用実績が評価され、「R&Iファンド大賞」を4年連続で受賞

- 日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）および日興レジェンド・イーグル・ファンド（毎月決算コース）は、「R&Iファンド大賞」を4年連続で受賞しました。
- 「投資信託10年」部門での受賞となりました。
- 受賞は、運用実績等が評価されたものです。今後も良好なパフォーマンスを目指し運用を行ってまいります。

R&I ファンド大賞 2026
R&I Fund Award 2026

4年連続受賞

R&I ファンド大賞2023 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2024 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2025 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門	R&I ファンド大賞2026 「投資信託10年／外国株式バリュー」部門
最優秀賞　受賞	**優秀賞　受賞**	**優秀賞　受賞**	**優秀賞　受賞**

部門	カテゴリー	ファンド名
投資信託 10 年	外国株式 バリュー	日興・レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース） 4年連続受賞！ NISA 成長投資枠対象ファンド
投資信託 10 年	外国株式 バリュー	日興レジェンド・イーグル・ファンド（毎月決算コース） 4年連続受賞！

「R＆Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間、「投資信託10年部門」は過去10年間、「投資信託20年部門」は過去20年間を選考期間としています。選考に際してはシャープレシオ*1によるランキングに基づき、最大ドローダウン*2、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選出しています。選考対象は国内籍公募追加型株式投信とし、確定拠出年金専用およびSMA・ラップ口座専用は除きます。評価基準日は2026年3月31日です。上記評価は、過去の一定情報を分析した結果得られたものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

*1シャープレシオとは短期確定金利商品に対するファンドの超過収益率を収益率の標準偏差（リスク）で割った値です。リスク1単位当たりの超過収益率を示します。
*2 ドローダウンとは、最大資産からの下落率のことであり、それらのドローダウンの最大となった値を最大ドローダウンといいます。

Amundi
Investment Solutions

日興レジェンド・イーグル・ファンド
（資産成長コース）／（円ヘッジコース）／（毎月決算コース）

追加型投信／内外／株式

販売用資料
月次レポート

月次レポート　　**基準日:2026年10月30日**



株式市場が好調な時も、逆風の時も。資産を守り続けてきたファンドがあります。
変化の時代にできること。「株式投資」という選択。

選ぶ　独自の価値を持ち、いつも時代に必要とされる企業を厳選

企業本来の価値に着目し、十分に割安になった水準でのみ投資します

備える　投資機会を逃さないための「現金」

突然の投資機会を逃することのないよう、現金を常に5-25%程度保有します

守る　不測の事態に守りの「金※」

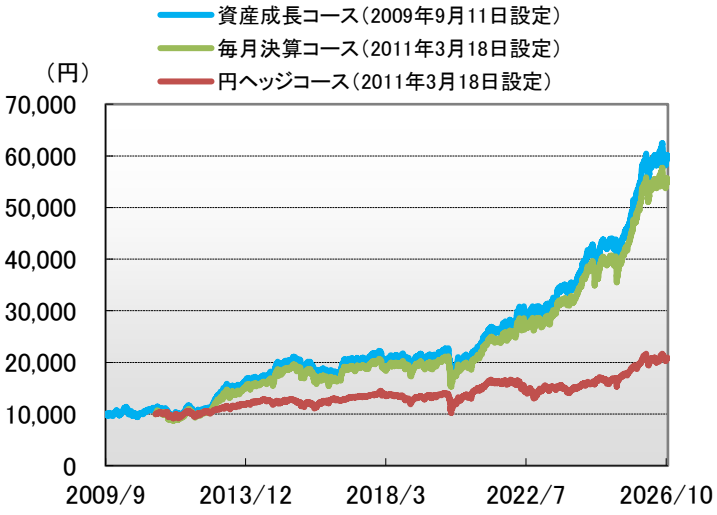
株式と動きが異なる金を常に保有、安定感をプラスします

※ 日興レジェンド・イーグル・ファンドの主要投資対象ファンド「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド（以下、マスター・ファンド）」では、金ETF、金関連株式に投資します。（金現物は含まれません。）

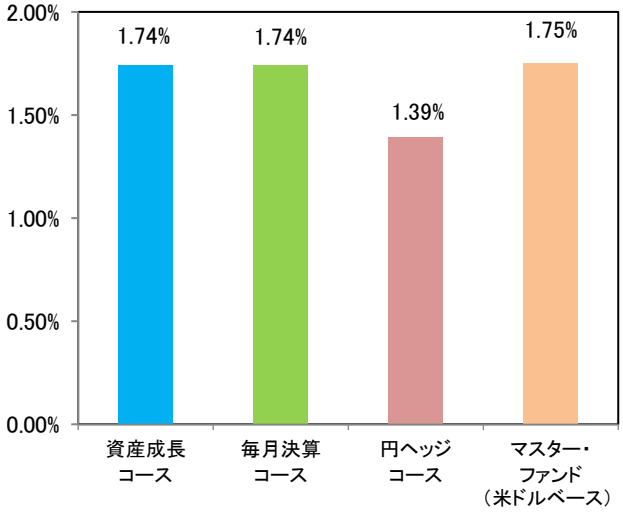
資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用スタイルに合わせて選べる3コース

基準価額（税引前分配金再投資）の推移
（期間：各コースのそれぞれ設定日から上記基準日まで、日次）



各コースの当月の月間騰落率



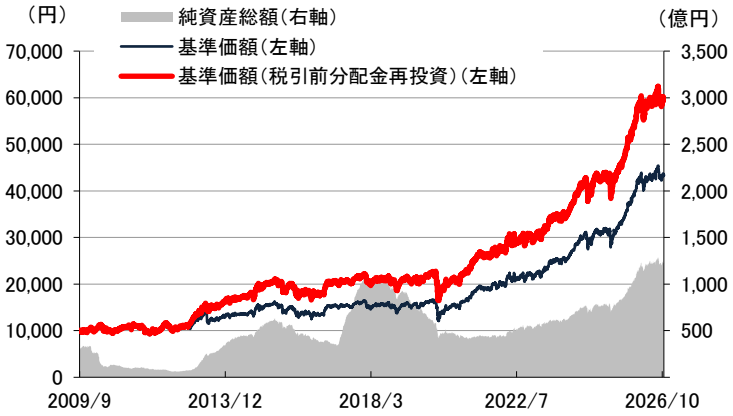
・基準価額（税引前分配金再投資）と騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。・基準価額は信託報酬控除後です。・騰落率はファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りと異なります。・マスター・ファンドの騰落率は、マスター・ファンドの代表的なシェアクラスの騰落率です。また、騰落率の基準日は、日興レジェンド・イーグル・ファンドの基準日の1日前（土日除く）です。ただし、マスター・ファンドの休業日の関係で当該騰落率の基準日は変動する場合があります。

P.7の「※当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

基準日:2026年10月30日

日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）

基準価額の推移



※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。費用については、P9の「ファンドの費用」をご覧下さい。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	設定日
43,231円	2009年9月11日
純資産総額	**決算日**
1219.2億円	原則として、6月、12月の各5日

組入比率	
ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド	99.80%
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.00%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額比です。

騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.74%	−0.76%	2.01%	15.14%	77.07%	494.63%
＜ご参考＞米ドル/円	0.12%	−1.98%	−1.78%	2.23%	5.37%	71.93%

※騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※米ドル/円の騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値を用いて算出しております。

分配金実績（1万口当たり、税引前）

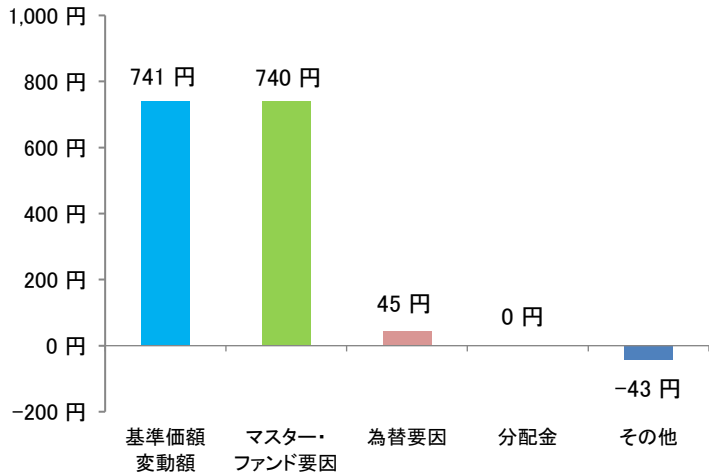
決算日	分配金
2023年12月5日	0円
2024年6月5日	0円
2024年12月5日	0円
2025年6月5日	0円
2025年12月5日	0円
2026年6月5日	0円
設定来累計	4,170 円

※直近6期分の分配金実績です。
※分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

（ご参考） 基準価額の変動要因

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
比較基準日	2026/9/30	2026/7/31	2026/4/30	2025/10/31	2023/10/31	2009/9/11
比較基準日の基準価額	42,490 円	43,560 円	42,378 円	37,548 円	24,414 円	10,000 円
比較基準日から当月末までの基準価額の変動額	741 円	−329 円	853 円	5,683 円	18,817 円	33,231 円
マスター・ファンド要因	740 円	701 円	1,936 円	5,419 円	18,120 円	29,916 円
為替要因	45 円	−866 円	−760 円	876 円	2,197 円	11,636 円
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	−4,170 円
その他	−43 円	−165 円	−323 円	−612 円	−1,500 円	−4,151 円

＜当月の基準価額の変動要因＞



＜当月の変動要因（コメント）＞

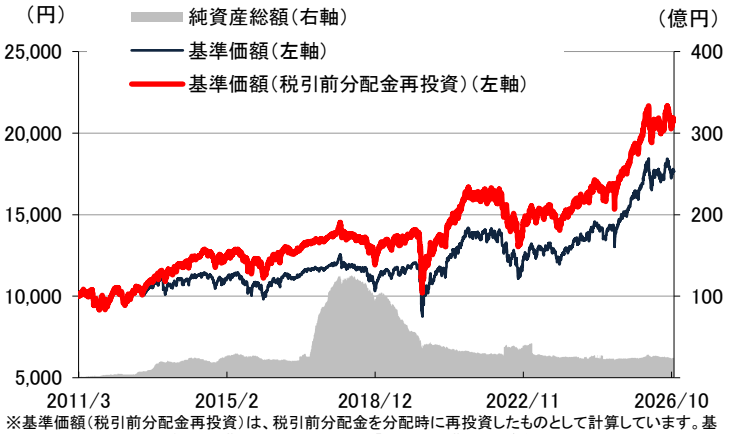
- 当月の基準価額変動におけるマスター・ファンド要因はプラスとなりました。内訳は米国株式のプラス寄与が相対的に高くなりました。
- 当月の基準価額変動における為替要因は、円安・米ドル高を受けてプラス寄与となりました。

・基準価額は信託報酬控除後です。
・その他要因は、信託報酬、その他の誤差を含みます。
・各要因の円未満は四捨五入している関係で、合計が一致しない場合があります。
・上記の変動要因は概算値であり、実際の基準価額の変動額を正確に説明するものではありません。傾向を把握するための参考値としてご覧ください。

基準日:2026年10月30日

日興レジェンド・イーグル・ファンド（円ヘッジコース）

基準価額の推移



※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。費用については、P9の「ファンドの費用」をご覧下さい。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	設定日
17,650円	2011年3月18日

純資産総額	決算日
24.1億円	原則として、 6月、12月の各5日

組入比率	
ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド	99.27%
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.02%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額比です。

騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.39%	0.46%	2.24%	8.93%	47.06%	107.52%

※騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算日	分配金
2023年12月5日	0円
2024年6月5日	0円
2024年12月5日	0円

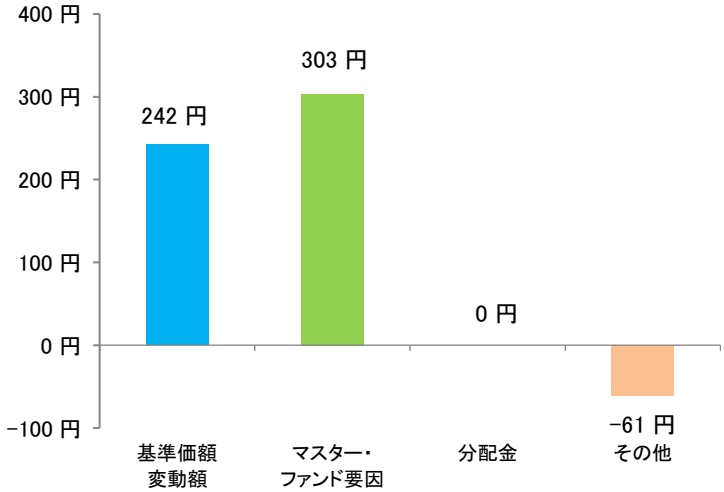
決算日	分配金
2025年6月5日	0円
2025年12月5日	0円
2026年6月5日	0円
設定来累計	1,780 円

※直近6期分の分配金実績です。
※分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

（ご参考） 基準価額の変動要因

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
比較基準日	2026/9/30	2026/7/31	2026/4/30	2025/10/31	2023/10/31	2011/3/18
比較基準日の基準価額	17,408 円	17,569 円	17,264 円	16,203 円	12,002 円	10,000 円
比較基準日から当月末までの基準価額の変動額	242 円	81 円	386 円	1,447 円	5,648 円	7,650 円
マスター・ファンド要因	303 円	275 円	773 円	2,236 円	8,154 円	15,861 円
分配金	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	−1,780 円
その他	−61 円	−194 円	−387 円	−789 円	−2,506 円	−6,431 円

＜当月の基準価額の変動要因＞



＜当月の変動要因（コメント）＞

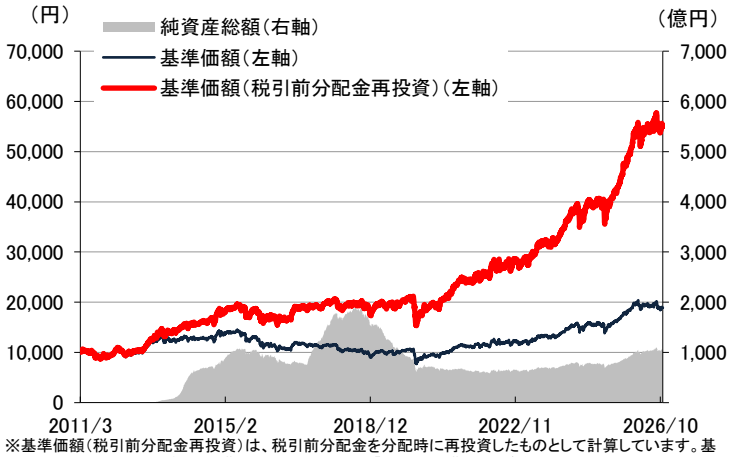
● 当月の基準価額変動におけるマスター・ファンド要因はプラスとなりました。内訳は米国株式のプラス寄与が相対的に高くなりました。

・基準価額は信託報酬控除後です。
・その他要因は、信託報酬、為替ヘッジ取引によるコスト、その他の誤差を含みます。
・各要因の円未満は四捨五入している関係で、合計が一致しない場合があります。
・上記の変動要因は概算値であり、実際の基準価額の変動額を正確に説明するものではありません。傾向を把握するための参考値としてご覧ください。

基準日:2026年10月30日

日興レジェンド・イーグル・ファンド（毎月決算コース）

基準価額の推移



※基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。費用については、P9の「ファンドの費用」をご覧下さい。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	設定日
18,845円	2011年3月18日
純資産総額	**決算日**
1058.5億円	原則として、毎月5日

組入比率

ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド	98.23%
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.00%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額比です。

騰落率

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.74%	−0.73%	2.00%	15.13%	76.96%	449.62%
＜ご参考＞米ドル/円	0.12%	−1.98%	−1.78%	2.23%	5.37%	93.66%

※騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※米ドル/円の騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値を用いて算出しております。

分配金実績（1万口当たり、税引前）

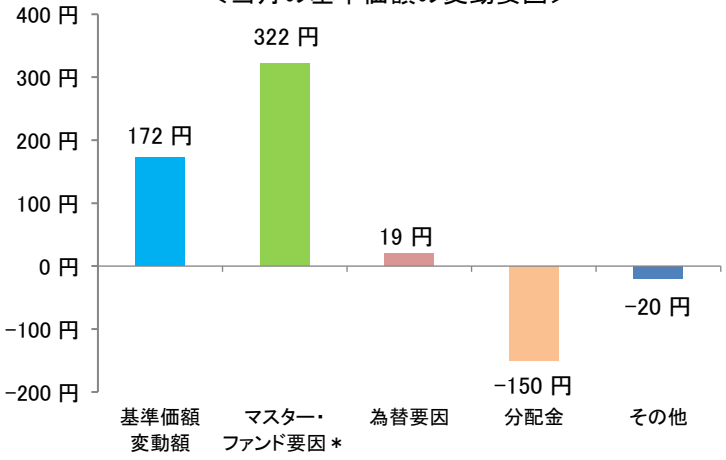
決算日	分配金	決算日	分配金
2026年5月7日	150円	2026年8月5日	150円
2026年6月5日	150円	2026年9月7日	150円
2026年7月6日	150円	2026年10月5日	150円
		設定来累計	13,510 円

※直近6期分の分配金実績です。
※分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

（ご参考） 基準価額の変動要因

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
比較基準日	2026/9/30	2026/7/31	2026/4/30	2025/10/31	2023/10/31	2011/3/18
比較基準日の基準価額	18,673 円	19,436 円	19,360 円	17,991 円	12,828 円	10,000 円
比較基準日から当月末までの基準価額の変動額	172 円	−591 円	−515 円	854 円	6,017 円	8,845 円
マスター・ファンド要因*	322 円	317 円	867 円	2,509 円	8,886 円	14,531 円
為替要因	19 円	−383 円	−336 円	422 円	1,054 円	8,425 円
分配金	−150 円	−450 円	−900 円	−1,800 円	−3,200 円	−13,510 円
その他	−20 円	−74 円	−146 円	−277 円	−724 円	−601 円

＜当月の基準価額の変動要因＞



＜当月の変動要因（コメント）＞

- 当月の基準価額変動におけるマスター・ファンド要因はプラスとなりました。内訳は米国株式のプラス寄与が相対的に高くなりました。
- 当月の基準価額変動における為替要因は、円安・米ドル高を受けてプラス寄与となりました。

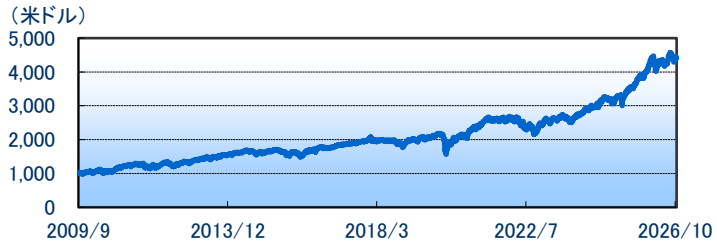
・基準価額は信託報酬控除後です。
・その他要因は、信託報酬、その他の誤差を含みます。
・各要因の円未満は四捨五入している関係で、合計が一致しない場合があります。
・上記の変動要因は概算値であり、実際の基準価額の変動額を正確に説明するものではありません。傾向を把握するための参考値としてご覧ください。
＊マスター・ファンド要因は、毎月決算コースが投資するマスター・ファンドの同コース用のシェアクラスの要因です。

基準日:2026年10月30日

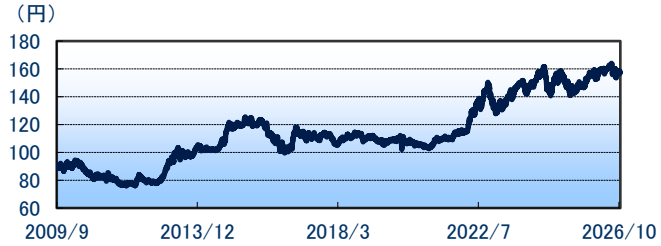
「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」の運用状況

ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド（以下、マスター・ファンド）の概況は、ファースト・イーグル・インベストメンツが作成・発行したデータによるものです。

■ファンド価格の推移



■米ドル/円（ご参考）



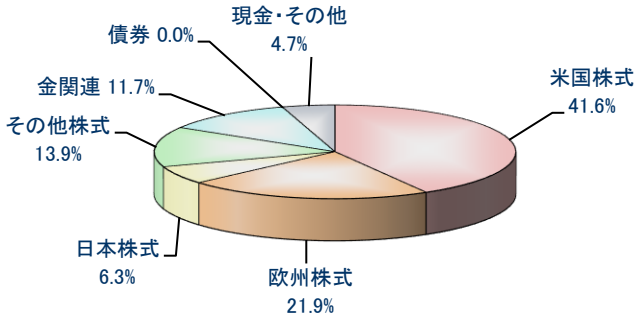
※為替レートは、対顧客電信売買相場の仲値です。

■騰落率（米ドルベース）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	運用開始来
マスター・ファンド	1.75%	1.57%	4.53%	14.19%	75.20%	341.16%

※ファンド価格の推移および騰落率は、マスター・ファンドの代表的なシェアクラスのものです。運用開始日は2009年9月14日（現地）です。
※ファンド価格の推移および騰落率は、マスター・ファンドの過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
※マスター・ファンドの騰落率の基準日は、日興レジェンド・イーグル・ファンドの基準日の1日前（土日除く）です。ただし、マスター・ファンドの休業日の関係で当該騰落率の基準日は変動する場合があります。

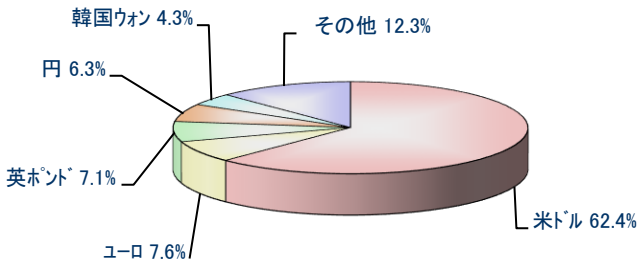
■資産別配分



金関連の内訳は、金ETFに8.3%、金関連株式に3.4%です。また債券の内訳は、国債に0.0%です。

※比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※比率は、マスター・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。

■通貨別配分



※比率は、金関連および現金（米ドル）を含みます。
※比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※比率は、マスター・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。

■組入上位10銘柄

※比率は、マスター・ファンドの純資産総額に対する評価金額の割合です。

組入銘柄数：127銘柄

	銘柄名	国名	組入比率	概要
1	金ETF	米国	8.27%	NY上場の金ETF（金価格連動上場投信）。金現物取引価格との連動を目指す。
2	ベクトン・ディッキンソン	米国	2.37%	グローバルに事業を展開する医療技術企業。技術やサービスの提供および顧客との緊密なコミュニケーションを通じて医療に携わる人々を支援。
3	サムスン電子	韓国	2.09%	スマートフォンやTVなどの電子製品、メモリ半導体で世界をけん引。世界中に製造拠点、営業所を持つ。人材と技術をもとに最高の製品とサービスを創出することを目指す。
4	アルファベット	米国	2.02%	持株会社。子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウエア・アプリケーション、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウエア製品等を提供する。
5	メタ・プラットフォームズ	米国	1.85%	ソーシャルネットワーク・ウェブサイトの運営会社。ユーザー間における情報等の共有や事業の成長を支援するアプリケーションおよび技術を構築する。広告、仮想現実も手掛ける。
6	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	1.57%	創業から100年を超える、世界最大級の英国のたばこ製造販売会社。グループの子会社を通じて世界的に事業を展開する。
7	ワークデイ	米国	1.55%	人事や財務などをシステム化し、企業の意思決定を支援し、業務の効率化に資するシステムを提供。企業のみならず公的機関でも導入されている。
8	エレバンス・ヘルス	米国	1.55%	米大手医療保険会社。提携するヘルスケアプランを通じて、生命保険や傷害保険、介護保険、歯科、眼科などの医療保険・専門保険や、関連する商品・サービスを幅広く提供。
9	セールスフォース	米国	1.50%	主に企業向けにAIを利用してマーケティングや営業、顧客サービスなどの業務を効率化できるようにシステムを提供。
10	ダッソー・システムズ	フランス	1.42%	フランスを拠点とするソフトウエア企業。ライフサイエンス・ヘルスケア、都市・インフラ、製造業など幅広い場面で同社の3Dを取り入れた製品が活躍。

基準日:2026年10月30日

ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンドのファンド・マネージャーコメント

【市場動向】

10月の主要株式市場は、AI（人工知能）・半導体関連株の調整が目立ち、総じて方向感に欠ける展開となりました。米国市場は月前半に過去最高値を更新したものの、その後は主要テクノロジー株の決算やAI投資をめぐる懸念が重荷となる中、ディフェンシブ銘柄が選好されました。欧州市場は、月上旬は財政不安や金利の高止まりが上値を抑えましたが、下旬は個別決算を手掛かりとした物色が入りました。10月の日本市場は下落しました。月前半は、AI・半導体関連株中心に上昇しましたが、中旬はAI投資をめぐる懸念や、中東情勢緊迫化による原油価格上昇などを受け調整色を強めました。下旬は一時持ち直す場面もありましたが、月末にかけてはAI過剰投資への懸念再燃、原油高を背景としたインフレ懸念や欧州の政治不安を受けた金利上昇などが嫌気され、下落しました。その他の地域では、アジア・太平洋市場では、オーストラリアを除き下落基調となりました。特に韓国の下落率が大きくなりました。新興国市場ではインドは上昇しましたが、ブラジル、ベトナムは下落しました。

10月の米ドル／円相場は上昇しました。米国の長期国債利回りは低下し、商品市場では金価格は下落しました。

【運用状況】

ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンドは上昇（米ドルベース）しました。株式はプラスに寄与し、国・地域別では米国のプラス寄与が相対的に高くなりました。金関連資産はマイナスに寄与しました。当月のファンドのパフォーマンスにプラスに寄与した保有銘柄は、ダッソー・システムズ、ベクトン・ディッキンソン、ブリティッシュ・アメリカン・タバコ、シェル、HCAヘルスケアなどでした。一方、マイナスの寄与となった保有銘柄はアルファベット、メタ・プラットフォームズ、金ETF、サムスン電子、SMCなどでした。

【今後の運用方針】

主要中央銀行の政策やインフレおよび経済動向に加えて、地政学的リスク、原油価格の動向、AI関連テーマにまつわるリスク等が今後の懸念材料として挙げられます。私たちは下方リスクに対するヘッジポジションとしての金関連資産の保有を含め、引き続き規律ある慎重な運用を心掛けます。

最も深刻な投資のリスクは投資元本の永続的な毀損であり、そのリスクの主たる源泉は割高な証券への投資であると考えます。私たちは、予期せぬ事態が生じても、回復不可能な損失を回避できるよう、十分に割安な水準で投資することを重視し、個別銘柄の株価が私たちの考える本源的価値を十分に下回る場合にのみ、投資します。十分に割安と判断できる投資機会が限られる局面では、無理に投資せずに現金等を保持します。現金等は個別銘柄単位で十分に割安と判断できる投資機会を特定した段階で、投資資金に充当するものと位置付けています。また、予期せぬリスクに対するヘッジ手段、および中長期的に資産の実質的価値の維持を目指す手段として、金関連資産を一定比率保有し続ける方針です。

引き続き、短期的な市場動向や市場予測に頼るのではなく、ボトムアップによる銘柄選択を通じて競争力を持続できるような質の高い事業や希少な資産を有すると考えられる企業に分散投資することで、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求し、投資信託財産の長期的な成長を目指した運用を継続する方針です。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

ファンドの特色

1　米国有数の独立系運用会社ファースト イーグル インベストメント マネジメント社（以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ）が運用する「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド（以下、マスター・ファンド）」へ、主に投資します。

- 主としてケイマン籍の外国投資信託「マスター・ファンド」の受益証券と国内籍の投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の受益証券に投資します。世界の株式等への実質的な投資は「マスター・ファンド」を通じて行います。
- 「マスター・ファンド」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュー・チームが行います。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の運用はアムンディ・ジャパン株式会社が行います。

2　主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、ドルベース※で相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。

- 世界各国(エマージング地域にも投資することがあります。)の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
- 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
- ファンドは、特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
- 「マスター・ファンド」において、ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、ドル以外の他通貨売り/ドル買いの為替取引（ドルベースでの為替ヘッジ）を行うことがあります。

  ※当資料では、「ドル」とは米ドルのことを指します。

3　「資産成長コース」、「円ヘッジコース」、「毎月決算コース」それぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。

- スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。

◆資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。◆

投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

＜お申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。＞

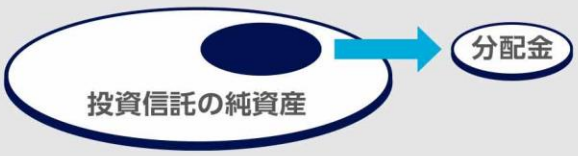
※当資料のお取扱いについてのご注意

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書（交付目論見書）で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。■投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

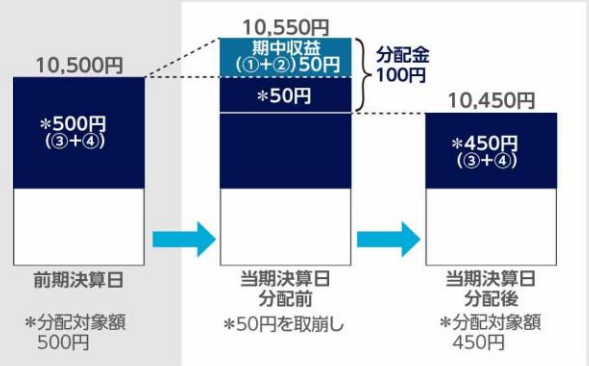
【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



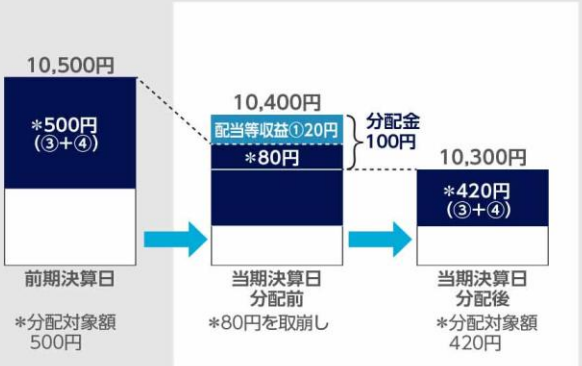
●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合



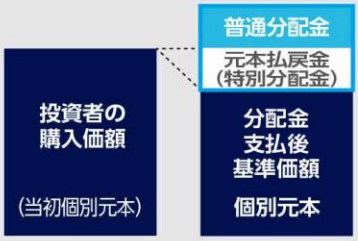
前期決算日から基準価額が下落した場合



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

お申込みメモ

	資産成長コース	円ヘッジコース	毎月決算コース
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。		
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。		
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、6営業日目からお支払いします。		
購入換金申込受付不可日	ニューヨークもしくはケイマンの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休場日の場合はスイッチングを含め、受付けません。		
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。		
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。		
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。		
信託期間	原則として、無期限とします。 （設定日：2009年9月11日）	原則として、無期限とします。 （設定日：2011年3月18日）	
決算日	年2回決算、原則毎年6月、12月の各5日＊です。		年12回決算、原則毎月5日＊です。
	＊当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。		
収益分配	原則として年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。		原則として年12回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
	「分配金再投資コース」は税引後無手数料で再投資されます。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。資産成長コースおよび円ヘッジコースは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。毎月決算コースは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。		
スイッチング	資産成長コース、円ヘッジコースおよび毎月決算コースそれぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問合せください。		

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は**3.3%（税抜3.0%）**です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	各コースの純資産総額に対し**年率1.232%（税抜1.120%）**をそれぞれ乗じて得た金額とします。 各コースが投資する投資信託証券の有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各投資信託証券の運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.385%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の**各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032%**（=1.232%＋0.8%）となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万ドルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額は投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。
その他の費用・ 手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税　等 **※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。**

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、 その他の関係法人	委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者　関東財務局長（金商）　第350号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 受託会社：野村信託銀行株式会社 販売会社：販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する 照会先	**アムンディ・ジャパン株式会社** お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/

P.7の「※当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

販売会社一覧（業態別・五十音順）

金融商品取引業者等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○
株式会社三井住友銀行 （委託金融商品取引業者 SMBC日興証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第3号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○